

| 活 用 事 例 | 香川県高松市立木太小学校 | 三崎孝行教諭 |
|---|--|--------|
| 活用事例タイトル | 木太町見聞録 史跡のガイドマップを作ろう | |
| 対象授業科目/活動 | 総合的な学習の時間 | |
| 授業または活動の概要 (目的、実施時期、授業の場合教科名や単元名、対象学年、参加人数、ICTの使用局面など) | <p>本学級は、男子15人、女子17人、計32人のクラスである。2年生の生活科では、木太町の主な店舗や施設の見学に出かけ、町のよさに気付く活動を行っている。また、3年生の社会科では、校舎の屋上から町を眺め、町の特徴をつかんだり、町の様子を絵地図に表す活動を行ったりしている。このような活動を通して、児童は、自分たち暮らす町の特色や、主な産業についての認識を深めていくことができたが、木太町の歴史については全く未知の領域であった。町に多数点在する史跡には、その存在に気付いてはいたものの、その歴史的価値については、家族からもほとんど聞いたことがないという状況であった。</p> <p>そこで、この学習をスタートさせるに当たって、史跡についてのオリエンテーションを行った。3年生になったばかりの児童にとって、歴史的な内容の話は理解することが難しいように危惧されたが、実際は、初めて聞く話に興味津々に聞き入り、これから調べていくことへの意欲が高まり、地域の歴史を理解し、郷土に対する愛着を深められる価値ある学習活動へのスタートを切ることができた。</p> <p>学習の第一次段階では、地域に残る史跡を実際に訪れ、実際に目で見て発見したことや教師の解説、紹介している看板から得た情報をワークシートにまとめる活動を行った。</p> <p>次に児童は、これら調べた内容をコンピュータを活用して表現していく活動に取り組んでだ。ここでは、情報活用能力が必要とされるが、これには個人差が大きいと予測され、家庭でのコンピュータの使用状況についてのアンケートを実施した。アンケートの結果を見ると、コンピュータが児童の身近なものとして家庭でも使用されており、その使用内容も多岐にわたっている。気になる事項として、自分だけでコンピュータを使うことのできる児童が10人もいるのに対して、使うときの約束を見ると、全く安心してられない状況であることもうかがえる。情報通信機器を身近なツールとして今後ますます使用していくであろうことが予想できる現状である今の子どもたちにとって、情報モラル教育の必要性も強く感じられる。</p> <p>本学習においては、ジャストスマイル3にプラグ・インされている「はっぴょう名人」というソフトを使用し、1つのページに1つの史跡を「タイトル」「画像」「説明文」という表現方法に統一している。児童は、このソフトを上手に使い、ページを作成することができている。しかし、内容面では十分なものはなっていないため、新たな資料を活用して一層充実させていく必要がある。調べるための素材としては、インターネットの情報を活用していく方法を考えた。本学習においては、インターネットの活用や情報モラル教育に重点を置き、学習活動を展開していきたい。</p> | |

ICT活用により
期待できる効果
ICT活用のねらい

本単元を指導することによって、「情報活用の実践力」や「情報モラル」を身に付けさせることのできる学習活動を展開することが可能となると考えた。

香小研高松支部メディア教育部会においては、数年前から情報モラルに関する内容を研究内容の柱として取り扱い、これに関わる授業が提案されてきている。また、市販ソフトにおいても情報モラル関連の内容が充実してきてはいるものの、そのほとんどは情報の影の部分を取っており、「○○に注意しましょう」「○○しないようにしましょう」「○○には気をつけましょう」といったものがほとんどであった。小学校高学年の児童には適当な内容であるかもしれないが、果たして3年生の児童に対しては適切だろうかと考えさせられた。前述のアンケートからも情報モラル教育の必要性は感じられるが、まさに情報通信機器を活用していこうとする入口に立つ児童に対しては、もっと光の部分に焦点を当てた指導が必要ではないだろうか。「情報を活用すると知識の幅が広がるんだ。」「正しい情報を身に付ければ、自信をもって発信できるんだ。」「インターネットって便利なツールなんだ。」といった感覚を養うことが大切である。そのため、教師が正しい情報、児童が必要としている情報を適切に与えることで、情報に対する信頼感が養われ、積極的に活用していこうとする態度が育つと考えた。

本時の学習活動においては、児童がまとめたページに情報を付け足して、さらに詳しくしていく活動を計画した。そのための情報源としては、インターネットのサイトから児童に分かりやすい内容や表現に書き換えた教師作成のバーチャルなインターネット環境を提供し、そこから自分に適した情報を選び、自分のページに付け加えさせる活動を行う。このようにバーチャルなインターネット環境の中で学習に取り組ませることのねらいは、児童の発達段階や実態を考慮したことと、ネット迷子を出さないように配慮したためである。

思考力・表現力の向上（情報とかがわり合う力・友だちの表現方法とかがわり合う力）

<情報とかがわり合う力>

での経験である。また、アンケート結果からも、家庭においてもインターネットを使用して調べ学習に活用したことのない児童も見られる。そこで、バーチャルなインターネット環境のもとで情報を収集する活動を行うことで、提示される情報と真剣に向

き合い、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理する能力が必要とされてくる。このように情報と関わる活動を通して、情報活用の実践力を高めていきたい。

＜友だちの表現方法とかわり合うカ＞

コンピュータを使用して表現物を作成することに抵抗感を感じなくなってきたのは、操作技能においては個人差が見られ、自分の思うように操作・表現することができない児童も見られる。そこで、6つのグループを編成し、それぞれのグループには操作・表現することに自信のある児童を1～2人配置した。そして、学習活動全体を通して、リーダー役になる児童が困っている児童に率先してかわり、グループみんなで協力して作品を作り上げていけるように配慮した。また、本時の学習の交流場面においては、互いに付け足した情報の効果について認め、称賛し合う活動を取り入れることで、活動の成果に対する成就感を感じ、ともに活動しているグループへの帰属意識が高められるよう指導や支援を繰り返し行っていきたい。

評価、振り返り（活動の
評
判や児童・生徒の声など）

インターネットを活用して必要な情報を収集し、正確に発信することの大切さに気付き、情報活用の実践力や情報モラルの基礎を身に付けるとともに、友だちの表現したものと積極的に関わりながら、木太町見聞録ガイドマップを作成することができた。

木太町の今、むかし、未来



木太天満宮

木太天満宮にあまつりされている神様は、「菅原道真（すがわらのみちざね）」です。菅原道真と言えば、日本でも有名（ゆうめい）な人です。菅原道真は、学問の神様とも言われ、お参（まい）りすると勉強がよくできるようになるそうです。

木太天満宮は、むかし、小さな丘（おか）の上にあったそうです。しかし、お参りする人もなく、あまりにも荒（あ）れ果（は）てていたので、村の人々からも忘（わす）れられていました。

高松のおとの様の家来（けらい）である寛助左衛門（かひすけざゑもん）が、病気を治すために大川郡（くん）にある岩風呂（いわぶろ）（いわぶろ：おんせんのこと）へ行くとき、ここまでやって来て、荒れ果てた木太天満宮で一休（ひとやす）みしていました。すると、松の木の上から自分の名前を呼（よ）ぶ声が3回も聞こえてきたので、上の方を見ると、なんとそこには神様が現（あらわ）れていました。

しかし、いっしょについてきていた人には全（まった）く見えませんでした。寛助左衛門は、大変驚（おどろ）き、ここに新しく天満宮を建（つく）ったというので、それ以来、村人たちはここを「寛天神（かひてんじん）」とか「足止（あしど）め天神」と呼（よ）ぶようになったそうです。

木太天満宮には、神木（しんぼく）：神様の木（かみ）の楠（くすのき）の大木があり、高松の名木にも選（えら）ばれています。

（2011/11/22 インターネットから引用）



おれじぞう

むかし、伝染病（でんせんびょう）がはやり、村人たちはその病気がかかって長く苦しんだり、中には死んだりする人もいたそうです。

そこで、村人たちは、えらいお坊（ぼう）さんに祈（いの）り（きとう：お願いすること）してもらいました。すると、神様があらわれて、

「湯元（かたもと：屋島の近く）におじぞう様が土の中に埋（う）まっていますので、それを掘り出しておまつりするといひ。」

と教えてくれました。これを聞いた村人たちは、さっそく湯元まで行き、おじぞう様を見つけて土の中から掘り出したそうです。

しかし、おじぞう様は石でできていて、ふつうの人では運ぶことができません。

そこで、力自慢（ちからじまん）の佐野鑑造（さのかんぞう）という人がおじぞう様を背負（せお）って運んでいきました。いくら力自慢の鑑造でも木太町まで来ては疲（つか）れてしまい、足が動かなくなってしまうそうです。

「どっこいしょ。」とおじぞう様を下ろしたところ、おじぞう様の上の方が折（お）れてしまい、折れたところから白い煙（けむり）が出てきました。

その煙のおかげでしょうか、村から病魔（びょうま）：びょうま：びょうまが治（な）ると伝えられています。



小村田の助しよけいひ

その土地の人々のために自分の命をかけてがんばった人のことを義民（ぎみん）といひます。

さぬぎにも、義民の物語が今でものこされています。高松藩（はん）には、小村田之助（おもしろたのすけ）という義民がいたといひがのこっています。

田之助は、屋屋（しょうや）の家に生まれ、19才のときに父親から屋屋の仕事を受けつぎます。この年は、松平頼重（まつだいらよりしげ）が高松のおとの様としてやって来た年です。高松では、何年も雨の少ない年が続き、おひゃくしょうさんたちはお米が少ししかとれず、毎日食（く）べるものにならなかつたので、たくさんのお米が死んでいきました。

これを見ていらなかった田之助は、「おとの様におさめるお米を年2回に分けてほしい、もしできないときは自分が代わりにおさめます。」といひを強くおねがいました。そして、田之助のねがいが通じ、分けておさめることが認められました。

しかし、これはよくないことだといひ意見も出され、山田郡夷（えびす）村（現在の高松市木太町夷）の刑場（けいじょう）で、田之助は首を切られることになりました。

このとき、おとの様の松平頼重は罪（つみ）を軽くしようと馬で使（つか）いの者を走らせたが、間に合わないとき使（つか）いの者が馬の上から白旗（しろはた）をふって処刑（じょけい）の中止を知らせようとしたが、

刑場の役人は「早くしろ」の合図（あひだ）と思い、処刑してしまつたといひが伝えられています。



学習指導過程

| 学習活動 | 児童の意識の流れと反応 | 教師の支援と評価 | | | | |
|---|---|---|---|--|---|--|
| 1 本時の学習のめあてを確認する。 | <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">表現物をもっと詳しくするために、インターネットを使って情報を集めよう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;">インターネットには、きっと知らなかったことがたくさん書かれていると思うよ。調べるのが楽しみだ。</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">インターネットから文章や画像をどうやって自分の画面に取り込めばいいのかな。操作の方法が分からないぞ。</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">今までインターネットなんて使ったことがないけれど、自分が求めている情報をうまく見つけられるかな。</td> </tr> </table> | インターネットには、きっと知らなかったことがたくさん書かれていると思うよ。調べるのが楽しみだ。 | インターネットから文章や画像をどうやって自分の画面に取り込めばいいのかな。操作の方法が分からないぞ。 | 今までインターネットなんて使ったことがないけれど、自分が求めている情報をうまく見つけられるかな。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事前に発表会を行い、聞き手の立場に立ってアドバイスし合うことで、情報を付け加える必要性に気付かせ、本時における個人の課題を明確にもてるようにしておく。 ・インターネットを活用して情報収集し、表現内容を詳しくしていくことを知らせる。 | |
| インターネットには、きっと知らなかったことがたくさん書かれていると思うよ。調べるのが楽しみだ。 | インターネットから文章や画像をどうやって自分の画面に取り込めばいいのかな。操作の方法が分からないぞ。 | 今までインターネットなんて使ったことがないけれど、自分が求めている情報をうまく見つけられるかな。 | | | | |
| 2 情報収集の方法を知り、表現物に情報を付け加える。 | <ol style="list-style-type: none"> 1 「なるほどねっと」を開き、ホームページのトップページを表示する。 2 調べたい史跡を選択する。 3 表現物に取り入れたい情報を選択し、トレイに移動させる。 4 「はっぴょう名人」の画面上にトレイに移動させた情報を取り込む。 5 表現物の体裁を整える。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 25%; padding: 5px;">知らなかったことがたくさん書かれているよ。全部を取り込むのは無理だから、必要な部分だけにしよう。そのためにはよく読んで選ばなければいけないな。</td> <td style="width: 25%; padding: 5px;">インターネットで調べてみると、ずっと不思議に思っていたことが解決したぞ。このことは絶対にみんなに伝えたいな。</td> <td style="width: 25%; padding: 5px;">この画像は、自分が使っていたものよりもよく分かるから入れ替えたいな。先生にやり方を聞いてみよう。 画像を入れ替えたことで、ずいぶん分かりやすいものになったよ。</td> <td style="width: 25%; padding: 5px;">史跡を紹介する看板では言葉や漢字が難しくよく分からなかったけれど、インターネットで調べてみると、言葉が簡単で、史跡の内容がよく分かったよ。</td> </tr> </table> | 知らなかったことがたくさん書かれているよ。全部を取り込むのは無理だから、必要な部分だけにしよう。そのためにはよく読んで選ばなければいけないな。 | インターネットで調べてみると、ずっと不思議に思っていたことが解決したぞ。このことは絶対にみんなに伝えたいな。 | この画像は、自分が使っていたものよりもよく分かるから入れ替えたいな。先生にやり方を聞いてみよう。 画像を入れ替えたことで、ずいぶん分かりやすいものになったよ。 | 史跡を紹介する看板では言葉や漢字が難しくよく分からなかったけれど、インターネットで調べてみると、言葉が簡単で、史跡の内容がよく分かったよ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事前に教師が各史跡に関するHPを検索し、児童にとって有用な情報を自作のHPとして作成して、バーチャルなインターネット環境を整備しておく。 ・たくさんの情報の中から必要な情報だけを取り込めばよいことを指示するとともに、どの部分を自分の画面に取り込めばよいのか迷っている児童には個別に支援を行う。 ・また、「なるほどねっと」については、事前に使用する機会を設け、本時の学習活動の支障にならないようにしておく。 ・画像も文章と同様に扱えることを知らせる。 |
| 知らなかったことがたくさん書かれているよ。全部を取り込むのは無理だから、必要な部分だけにしよう。そのためにはよく読んで選ばなければいけないな。 | インターネットで調べてみると、ずっと不思議に思っていたことが解決したぞ。このことは絶対にみんなに伝えたいな。 | この画像は、自分が使っていたものよりもよく分かるから入れ替えたいな。先生にやり方を聞いてみよう。 画像を入れ替えたことで、ずいぶん分かりやすいものになったよ。 | 史跡を紹介する看板では言葉や漢字が難しくよく分からなかったけれど、インターネットで調べてみると、言葉が簡単で、史跡の内容がよく分かったよ。 | | | |
| 3 グループで表現内容を確認し合う。 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; padding: 5px;">前よりもずいぶん詳しくなったね。でも、必要な情報だけを選ぶのは苦労したよ。</td> <td style="width: 25%; padding: 5px;">分からなかったことが分かるなんてすごいね。他にも見つけられないか、もう一度見てみよう。</td> <td style="width: 25%; padding: 5px;">画像を入れ替えたことで、ページを一目見ただけで何が書いてあるか分かるようになったよ。</td> <td style="width: 25%; padding: 5px;">曖昧な説明ではなくて、内容がよく分かるようになり、自信をもって伝えられるようになったよ。</td> </tr> </table> | 前よりもずいぶん詳しくなったね。でも、必要な情報だけを選ぶのは苦労したよ。 | 分からなかったことが分かるなんてすごいね。他にも見つけられないか、もう一度見てみよう。 | 画像を入れ替えたことで、ページを一目見ただけで何が書いてあるか分かるようになったよ。 | 曖昧な説明ではなくて、内容がよく分かるようになり、自信をもって伝えられるようになったよ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・互いに修正したページを見て、意見交換させることを通して、インターネットを活用することで自己のねらいが達成できたことの成就感が味わえるようにする。 |
| 前よりもずいぶん詳しくなったね。でも、必要な情報だけを選ぶのは苦労したよ。 | 分からなかったことが分かるなんてすごいね。他にも見つけられないか、もう一度見てみよう。 | 画像を入れ替えたことで、ページを一目見ただけで何が書いてあるか分かるようになったよ。 | 曖昧な説明ではなくて、内容がよく分かるようになり、自信をもって伝えられるようになったよ。 | | | |
| 4 表現物をさらに分かりやすいものにしようとする。 | <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">○インターネットで調べると、知らなかった情報をたくさん見つけることができページの内容を詳しくすることができたよ。これで聞く人にも分かりやすいページに変えることができたよ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">○インターネットを使うと、情報を早く、正確に探し出すことができたよ。インターネットって便利だな。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">インターネットでもっと詳しく調べて、正しいことを分かりやすく伝えていきたいな。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○必要な情報を見つけ出し、自分のページに適切に付け加えることができたか。（思考力③、表現・処理③〔表現物分析〕） ・正確な情報を得て、正しく発信することの大切さを伝える。 ・本時の学習からインターネット活用の有効性を体感させ、次時の活動への意欲を高めていく。 | | | | |